

令和6年度 第2回 浜松市立神久呂中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年7月31日（水） 午後1時30分から午後3時まで
- 2 開催場所 浜松市立神久呂中学校 大会議室
- 3 出席委員 池谷 昭広、宮澤 俊英、加藤 六明、谷井 文明、池谷 友美子、伊藤 直樹、
松田 友秀、中山 清春、古橋 律子
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 村松 俊司（神久呂協働センター所長）
- 6 学 校 今明 薫（校長）、吉春 雅子（教頭）、小栗 慎二（教務主任）、河合 恭子（CS担当）、
鈴木 義典（CS担当）、倉田 紘和（生徒指導担当）、鈴木 佳子（3年学年主任）、
森田 美和（CSディレクター）
- 7 教育委員会 浜松市教育委員会総務課 井島 健蔵
- 8 傍聴人 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 森田 美和
- 10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、中山 清春委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）いじめ防止基本方針の確認について
- （2）総合的な学習の時間について
 - ・ 2年 職場体験について
 - ・ 3年 進路面接指導について

12 会議記録

司会の河合先生から、委員総数9人全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）いじめ防止基本方針の確認について

議長の指示により校長先生から、いじめ防止基本方針の確認について説明があった。そして、生徒指導担当の倉田先生から神久呂中学校での最近の生徒のいじめの現状や学校での対応などの報告があり、委員から以下の発言があった。

- ・ 学校内でのいじめに関しての対応はとても難しいと感じるが、教員がアンテナを高くして、子供に寄り添って指導してくれていると思う。（池谷会長）
- ・ どんな形で生徒間のいじめの問題を先生方が把握しているのか知りたい。（宮澤委員）

この質問に対し、

毎日生徒が書く生活日記の内容、友達からや本人からの情報提供が多い。また、年に数回いじめアンケートを実施しており、その結果から把握することもある。先生に直接言いづらい生徒は保護者から報告を受ける場合もある。（倉田先生）

- ・ 昔はなかなかいじめを受けていても言い出すことが難しかったが、今は素直に発信できる機会があって良いと思う。（宮澤委員）
- ・ 今年度はいじめの報告が数件あったようだが、それはどんな状況で先生方が知ったのか。（古橋委員）

この質問に対し、

6月の中旬に1学期いじめアンケートを行った結果で発覚したもの。アンケートの情報を教員で共有し、複数の聞き取りをし、状況を調査している。(倉田先生)

- ・そのアンケートに書けば、先生方が何とかしてくれるだろうという安心感から、生徒も伝えやすくなっていると思うので良いと思う。(古橋委員)
- ・学校での表に見えるいじめだけではないと思うが、教員がどの程度入っていけるのか心配だ。学校外の起こったいじめや、SNSやインターネットのトラブルなどでのいじめに関しても難しいだろう。保護者がいじめに関して介入してくることがあるのか。(中山委員)

その質問に対し

今現在、神久呂中学校ではない。(倉田先生)

- ・子供同士での会話は結構本音が出てくるので、部活動指導中でも注意して気にするよう心掛けている。学校生活の中で根に持っていることがあると他の活動にも影響する。なるべく早くそういう情報を顧問の先生に伝えている。子供同士の会話にアンテナを高くして、察することが大切なのではないかと思う。(加藤委員)
- ・様々な意見が出たが、地域でも見守り、協力していければ良いと思う。(中山委員)

(2) 総合的な学習の時間について

2年 職場体験について

職場体験担当の義典先生から、現在の進捗状況や学習活動の説明があった。その後、今後どのような場所で職場体験をするのがいいか、委員から以下の発言があった。

- ・昨年のことを知らないが、職場体験するのは神久呂地区だけなのか。(中山委員)

この質問に対し、

神久呂地区だけでは企業や店が少ないので、バスや自転車を使って30分くらいで行ける範囲に広げている。なるべく生徒の興味のありそうな職場を体験できるように尽力していただいている。(義典先生)

- ・子供が行きたい職場だけを選んでいるのか。(中山委員)

この質問に対し、

なるべく生徒の希望に合うように調整していきたいが、希望に添えないときもある。自分の知らない職場を体験することによって、興味や関心を持てたり、知識や経験が増えることでこれからの生活に影響があれば良いと思う。(義典先生)

- ・昨年と同じような形で職業体験を行っていくのか。(宮澤委員)

この質問に対し、

地域的には学区内で見つけられるのが理想だが、企業や店舗が少ないこともあり、舘山寺のフラワーパーク近辺、富塚、雄踏街道、自衛隊付近に範囲を広げている。行政機関や、図書館、小学校や幼稚園などもお願いしている。新規や製造業などの企業では、生徒が安全に体験できるか、ホームページや他の情報などでチェックしてから依頼している。サービス業はできるだけいろいろな業種を選んでいるところだ。(加藤委員)

- ・昨年ある場所で体験学習をしている生徒の様子を見かけたが、最近は家の手伝いをする子が少ないのか、気づける子供が少ないように感じた。お客様が困っている時に声をかけたり、行動できなかったりと、ただ見ているだけ、立っているだけの生徒がいたので気になった。体験学習の中

だけでは無理もあるだろうが、事前に先生や保護者が「こういう仕事を体験するなら、こういうことが必要だね」と口添えしてくれると生徒も安心して学習でき、よりよい経験になると思う。

(池谷友委員)

- ・企業リストを見せてもらったが、農業施設が1件しかなかった。神久呂地区は農業が盛んな地域であり、農業団地もあるので、そういう身近なところにも目を向けていけたら良いと思う。外国人の方や、暑い中汗を流して働いている方、野菜の成長など農家の現状を見てもらい、地域の活動としてもっと体験してもらいたいと思う。(古橋委員)

3年 進路面接指導について

3年学年主任の佳子先生から面接練習実施計画書をもとに詳しい説明があり、委員から以下の発言があった。

- ・昨年、評価を書くときに時間がなく大変だった。生徒の良いところをたくさん書きたかったが、時間が短すぎた。もっと生徒の良いところを伝えてあげたかった。(宮澤委員)

この意見に対し、

実際の面接が1グループ5から6人で10分程度ということを見ると本番に沿ったやり方のほうが良いと思う。面接練習も時間が決まっているので、1グループ15分でまわすのが時間的に精一杯だ。時間を長くするのは現状無理なので、評価項目をABC表記にしたり、短い時間で評価できるように考えたい。(佳子先生)

- ・文章でコメントを書く時間はどうか。(宮澤委員)

この質問に対して、

グループ評価ではなく、個人への評価を書いてもらいたいが、その点も内容を変え、記入する欄を小さくするなど、見直していこうと思う。(佳子先生)

その他連絡事項

- ・司会から、次回令和6年度第3回の議会の開催時期は、令和6年12月10日(火)午後2時30分から大会議室で開催する旨の報告があった。また、次回の会議では古橋委員に司会をお願いする意向が伝えられた。
- ・谷井委員から、コーディネーター研修の報告があった。
研修に参加して、今までに無いような発見があり、ためになった研修だった。学校運営協議会の活動が活発になり、だいぶ浸透してきていると感じている。今年度浜松市では運営協議会の設置が100%になった。これからもっと活発に活動していけるだろう。地域、学校、生徒の連携が大切で、コーディネーターの重要性を感じ、支援と協調が必要な事だと感じた。みんなで子供たちを支えていけるような活動をしていきたい。グループワークでは4校で意見交換したが、それぞれの地域の特色を生かした活動をしていた。伝統を大切に子供たちに伝える活動をしている学校や、社協と協力してボランティア活動を推進している学校、地域の祭りを盛り上げたり、少子化で子供が少ない中、大人と子供がタイアップして、企画を考えている学校など、各地域によって様々な活動をしていることを知った。
- ・校長先生から今後の浜松市における部活動の地域移行に伴い、部活動の在り方についての説明があった。